

2021年2月期(第49期)

決算説明会



イオン九州株式会社

2021年4月9日(金)

本日のご説明内容

1. 2020年度 通期の業績
2. 2020年度 重点施策
3. 2021年度 重点施策
4. 2022年2月期 業績予想

1. 2020年度 通期の業績

2. 2020年度 重点施策

3. 2021年度 重点施策

4. 2022年2月期 業績予想

経営統合(2021年2月期の業績について)

2020年9月1日 新生イオン九州としてスタート

上半期 (2020年3月1日～2020年8月31日)	下半期 (2020年9月1日～2021年2月28日)
イオン九州(株) (期末店舗数:119店舗)	新生イオン九州 (314店舗)
マックスバリュ九州(株) (期末店舗数:180店舗)	
イオンストア九州(株) (期末店舗数:15店舗)	

店舗展開(県別業態別店舗数:2021年2月期末時点)

九州、山口に多様な業態を展開

	SM	DS	GMS	HC	その他	合計
福岡県	59	14	26	2	22	123
佐賀県	12	9	4	2		27
長崎県	21		10	3	1	35
熊本県	21	5	7	2	5	40
大分県	13		6	13	4	36
宮崎県	15		7	8	1	31
鹿児島県	12		6		3	21
山口県				1		1
合計	153	28	66	31	36	314

2021年下半期店舗数増減 SM:▲2店舗(新店+1 業態転換▲3) DS:+3店舗(業態転換+3)
GMS:+1店舗(新店+1) HC:▲1店舗(閉店▲1) その他:▲1店舗(新店+2 閉店▲3) 5

2021年2月期 通期業績

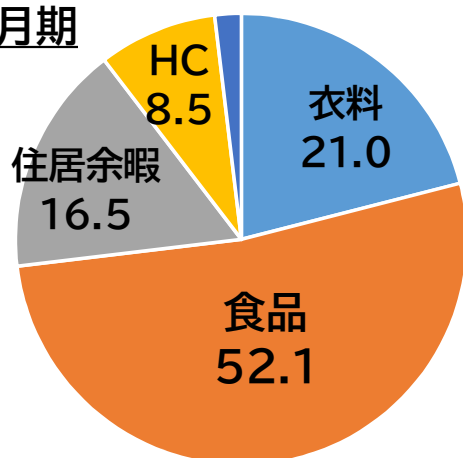
営業収益、各段階利益ともに計画を上回る

(単位:百万円)	当初公表数値 (2020年10月7日開示)	実績	公表差 (公表比)
営業収益	340,000	348,184	+8,184 (102.4%)
営業利益	1,800	3,139	+1,339 (174.4%)
経常利益	1,900	3,373	+1,473 (177.6%)
当期純利益	400	1,986	+1,586 (496.5%)
1株当たり配当金	10円	15円	+5円

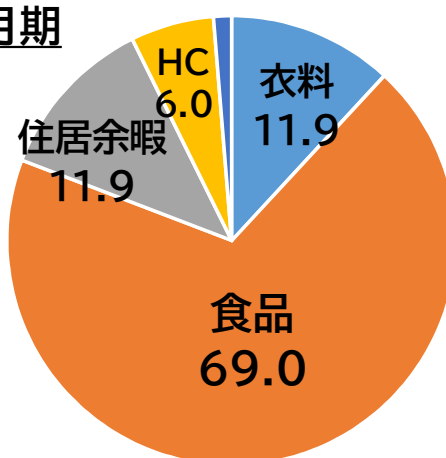
2021年2月期 売上総利益の状況

経営統合後、部門別の売上構成比は大きく変化

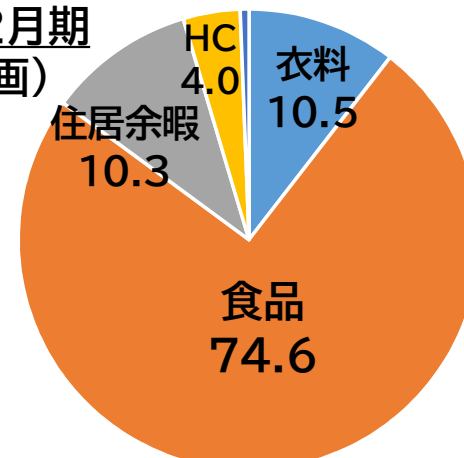
20年2月期



21年2月期



22年2月期
(計画)



	20年2月期			21年2月期			前期差	
	実績	構成比	荒利率	実績	構成比	荒利率	構成比	荒利率
売上高	205,477	100.0	-	330,095	100.0	-	-	-
衣料	43,206	21.0	36.2	39,145	11.9	35.6	▲9.2	▲0.6
食品	106,994	52.1	24.7	227,612	69.0	24.7	+16.9	+0.0
住居余暇	33,885	16.5	30.6	39,199	11.9	30.6	▲4.6	▲0.1
売上総利益	58,120	-	28.3	88,756	-	26.9	-	▲1.4

2021年2月期 主なセグメント別売上状況(上期・下期・年間)

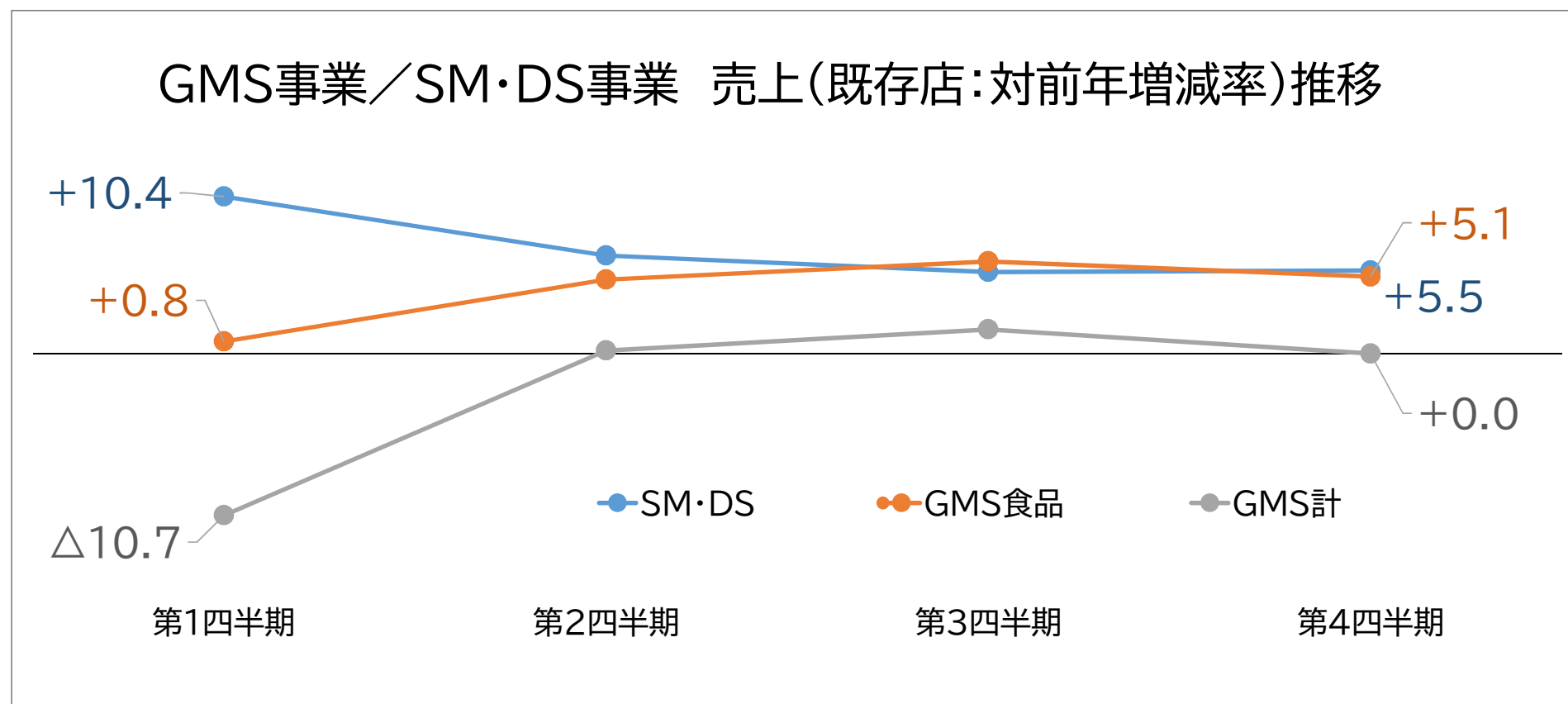
SM・DS事業、HC事業、GMS食品好調

(単位:百万円)	上半期		下半期		年間	
	実績	既存比	実績	既存比	実績	既存比
SM・DS事業	—	—	105,167	105.4%	105,167	105.4%
GMS事業	85,195	94.9%	115,630	100.8%	200,826	98.2%
衣料	15,769	75.6%	23,086	92.5%	38,856	84.6%
食品	53,450	103.0%	73,630	105.6%	127,081	104.5%
住居余暇	15,957	96.5%	18,895	94.4%	34,852	95.3%
HC事業	10,337	118.9%	9,488	115.5%	19,826	117.0%

※経営統合後の既存比については、承継店舗を含んでいます。

四半期別売上既存比(SM・DS事業・GMS事業)

第2四半期以降、GMSの売上は既存比100%を超過



※SM・DS事業の第1四半期、第2四半期はマックスバリュ九州株式会社の売上既存比

財政状態について

(単位:百万円、%)	2020年2月期		2021年2月期	
	実績	構成比	実績	構成比
流動資産	29,818	30.1	50,402	30.0
固定資産	69,093	69.9	117,826	70.0
資産合計	98,911	100.0	168,228	100.0
流動負債	58,052	58.7	90,431	53.8
固定負債	26,710	27.0	37,988	22.6
負債合計	84,763	85.7	128,419	76.3
純資産合計	14,147	14.3	39,808	23.7
負債・純資産合計	98,911	100.0	168,228	100.0
有利子負債	30,316	30.7	36,348	21.6

本日のご説明内容

1. 2020年度 通期の業績

2. 2020年度 重点施策

3. 2021年度 重点施策

4. 2022年2月期 業績予想

新型コロナウイルス感染症への対応

感染症対策と事業活動の両立に取り組む

AEON

あんせん、あんしん、その先へ。

感染症拡大防止への対応

イオンの防疫の誓い

- イオンは、専門家の科学的根拠に基づく助言と最新の知見により、防疫対策を実行します。
- イオンは、防疫対策を全従業員一致団結して実行します。
- イオンは、お客さまと一体となって防疫体制を構築します。
- イオンは、デジタルを活用しお客さまのタッチポイントを減らす施策、社会的な距離を確保した施設への変更などに投資を実施します。

マスクの下は笑顔です

現在はマスクで従業員の表情が見えないことから、気持ちをうまく伝えることがむずかしいですが、イオンではお客さまへの感謝と、お買物を楽しんでもらいたい思いで、マスクの下は心からの笑顔でお迎えしています。

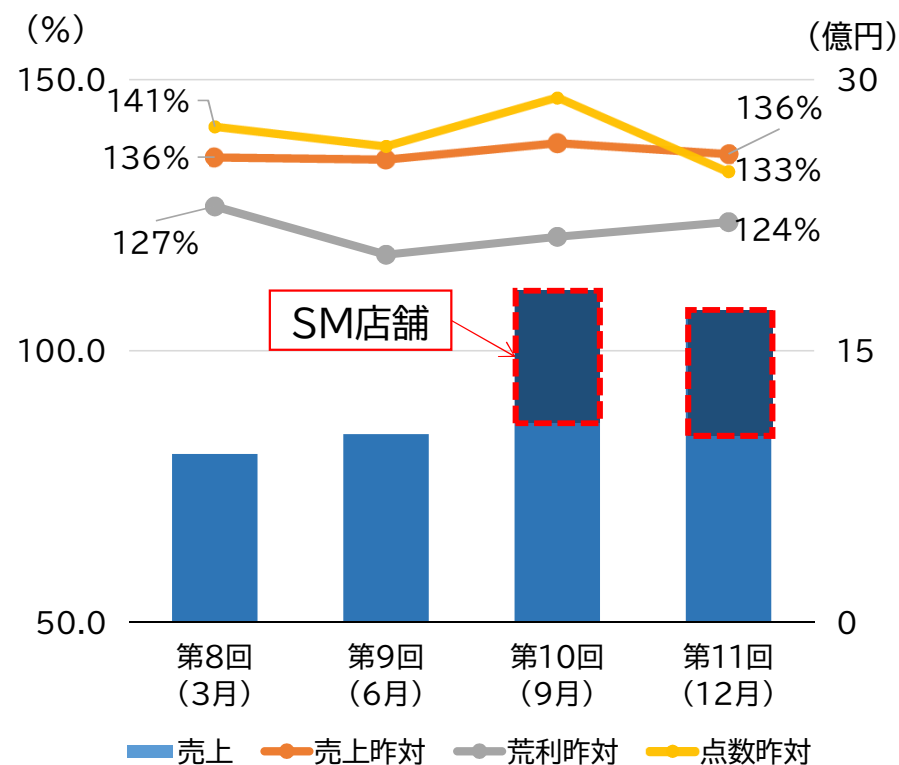


生活応援の取り組み

「本気の価格」: SM・GMS店舗合同で規模拡大して実施



本気の価格対象商品実績



※昨対はGMS事業の実績です。

SM・DS事業における主な取り組み(2020年度下半期)

新規出店・活性化・業態転換を推進



【新規出店】 マックスバリュ梅田店

- 敷地面積有効活用を目的にピロティー型(1階駐車場・2階売場)。
- 地域に根差した品揃え
- ヘルス&ウェルネス商品展開
- 省エネ什器の導入
- 非接触型キャッシュレスレジの導入



【既存店活性化】 9店舗

- お客様の『不』の解消(商品、設備)
- デリカ売場の充実
 - …新規商品展開と拡大
- 焼き立てパン・魚惣菜・冷凍畜産・水産商品の導入と拡大
- 統合効果
 - …マスク・ホームコーディの展開



【業態転換】 3店舗

- 生鮮強化型ディスカウントの構築
- 単品訴求力を高め、安さを訴求
- 圧倒的価格訴求力で競争力を高める
- アウトレット商品、業務用商品展開
- ローコスト運営のための什器導入

GMS事業における主な取り組み

より地域に根差した魅力あるSCへ



【新店(再出店)】 イオン原店

- SC次世代モデル「マチナカショッピングセンター」として再出店
- 専門店化を推進(インナー&カジュアル・スポーツジム等)
- 地場商品の豊富な品揃え
- ネットスーパー専用ロッカー設置



【大型SC活性化】 3店舗

- STEMを学べる知育玩具売場の導入
- 専門店化の推進(ホームコーディ・グラムビューティーック等)
- 銘店ギフト地場商品品揃え拡大



【SCテナント運営】

- 地元企業のテナント導入
- 地域初出店テナントの導入
- 既存専門店のリニューアル
- 直営売場との連動企画の実施
- SCスペースの有効活用

GMS事業における主な取り組み(イオンモール鹿児島)

日常が更に楽しくなる豊かさを提案するSCづくり



HC事業における主な取り組み

新業態プロショップ展開・変化するニーズへの対応



その他事業における主な取り組み

イオンバイク サイクル事業



イオンモール鹿児島敷地内へ移転オープン



2020年度 GMS店舗内出店 2店舗
SC内移転 1店舗

フランチャイズ スイーツ・カフェ事業



yogorino[®] caffè
BUONO



2020年度 GMS店舗内出店 6店舗

ネットスーパーにおける主な取り組み

店舗受取サービス拡充により需要増に対応



- 一日当たりの配送可能件数を20%拡大
 - 店舗受取サービス拡充
 - 熊本デポを新設
- 2020年12月20日より稼働開始



本日のご説明内容

1. 2020年度 通期の業績

2. 2020年度 重点施策

3. 2021年度 重点施策

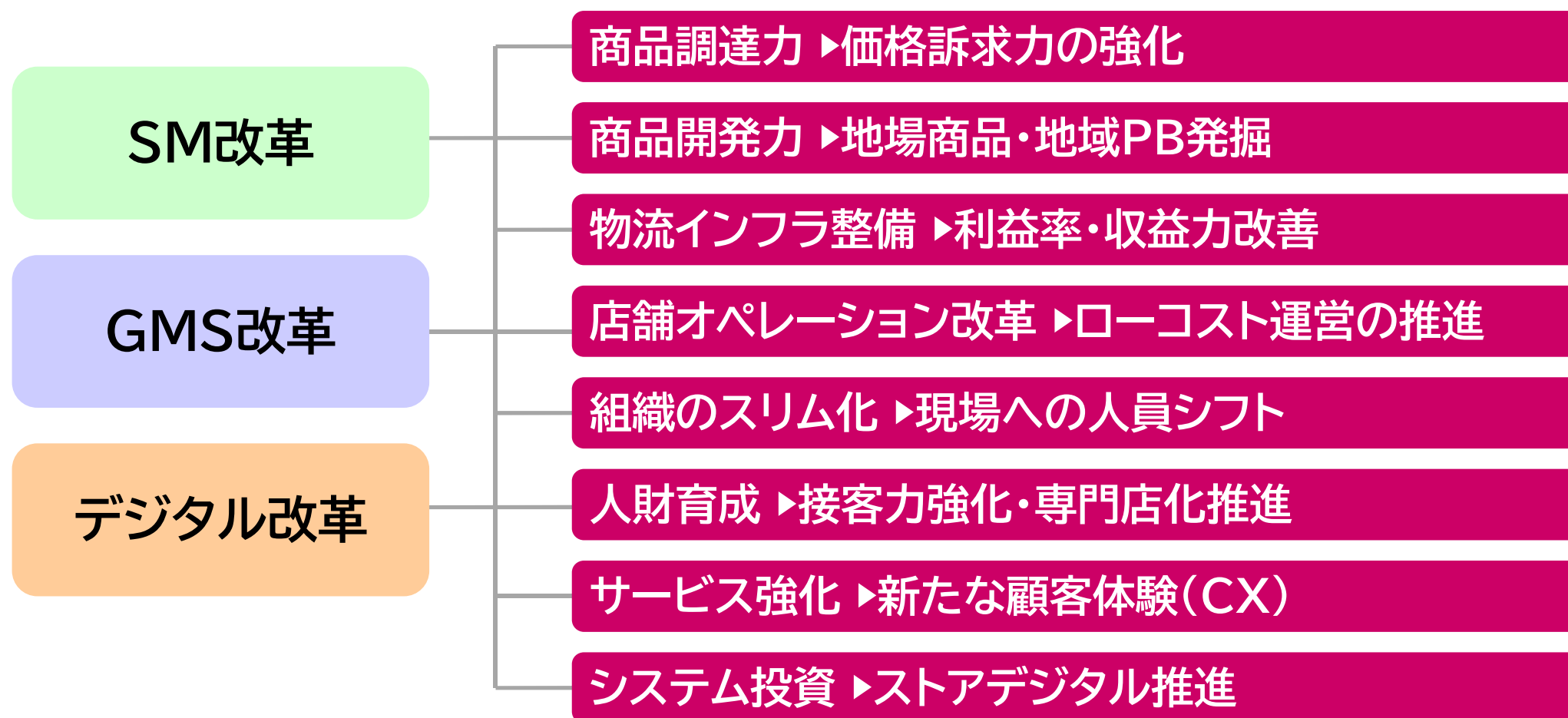
4. 2022年2月期 業績予想

新生イオン九州として目指す姿



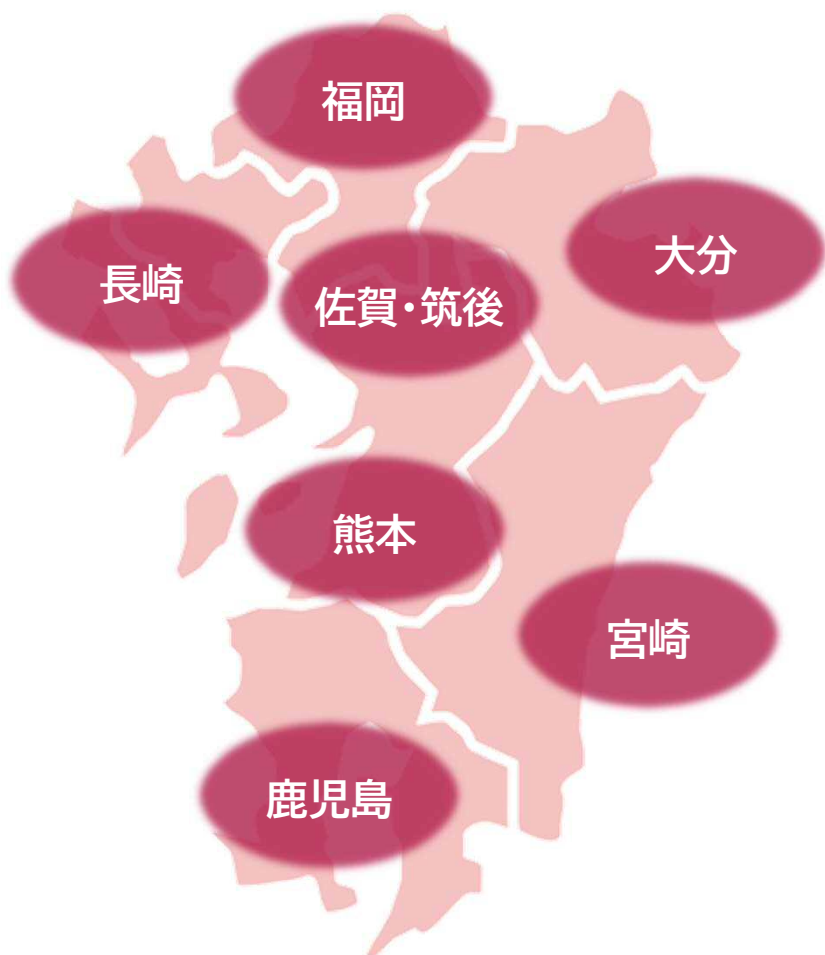
目指す姿の実現に向けて

新生イオン九州における改革の方向性



統合効果発揮に向けた組織体制の見直し

機構改革(2021年3月1日付け)県単位の事業部体制へ



【2021年3月1日付け機構改革の要旨】

- **SM・DS事業とGMS事業を一体化した**
県単位の事業部体制とし、地域密着の経営を推進
- **営業及び商品機能を一体化し、商販一体にて**
営業力強化とローコストオペレーションを推進
- 本社業務の見直しと事業部への権限移譲を通じ
現場最優先のマネジメント体制を構築
- 各本部配下の部組織を機能別に集約し、
効率化を進め、人員の現場シフトを促進。

(ご参考)

- ・3月の人事異動において、本社人員の75名を現場へ配置
- ・2021年度年間で、約20%を現場へ配置予定

食品改革

旬鮮工房 (水産プロセスセンター)



品揃えの充実、鮮度改善、効率改善



Vegetive 植物由来の食品



プロテインシリーズ

オリジナル商品 & コラボ商品



南阿蘇のイチゴを使ったデリスーツ



限定
販売

GMS(衣料品・住居余暇商品)改革

専門化の推進・SM店舗への導入・販売チャネルの拡大



【専門化の推進】

- 「インナー&カジュアル」「ホームコーディ」「グラムビューティーク」「スポージアム」の拡大
- イオンのカジュアルブランド「ラボスペック」等新規ショップの導入



【SM店舗への売場導入】

- GSM店舗で専門化に取り組んでいる売場の小型店モデルをSM店舗に導入



【デジタル活用】

- 商品とイオン九州アプリとSNSの連携による露出度向上
- ライブコマースへの挑戦 (4/10ランドセルで開始予定)

業態開発の推進（都市型小型店・ディスカウント）

熾烈な競争に打ち勝つ店舗フォーマットの確立



『近くて便利、即食簡便商品の充実』

- 店舗フォーマットの構築(都市部に集中)
- 旬鮮工房の取り組み拡大
- 店舗作業の軽減



『生鮮強化型ディスカウント』の構築

- フォーマットの確立(小型・標準・大型)
- 商品改革・物流改革によるコスト削減
- ローコスト運営の確立

業態開発の推進(ホームセンター)

専門業態(園芸専門店、プロショップ)への挑戦



『園芸専門業態』の開発

- コンセプト
「花と緑を楽しむ」複合型プレイスの創造
- ターゲット
ミレニアル世代を中心としたファミリー層



『プロショップ2号店』の出店

- ホームワイドプロ高城店(大分市)に続き、福岡市内への出店を計画中
- 2021年度下期 出店予定
- 1号店(高城)で培ったノウハウを活用

新たなビジネスへの挑戦

フランチャイズビジネスの推進

Pie Cream Puff



パイシュークリーム カスタードクリーム
原料や製法にことごとこだわったビードパパ自慢のスタンダードシュー。



ビードパパの
作りました工房®

2021年度:5店舗出店予定



ROYCE'
Chocolate Shop

ロイズのチョコレートショップが
あなたの街へやってくる！



移動販売車2台体制でスタート、順次拡大

2021年度 投資計画

イオンモール佐賀大和
3/19(金)
リニューアルオープン！



マックスバリュエクスプレス
西新店
4/20(火)新規オープン！



【2021年度投資計画概要】

- ・新店投資 : 11億円 SM・DS 3店舗、HC 2店舗、その他 11店舗
- ・活性化投資: 31億円 GMS 7店舗、SM・DS 22店舗、HC 2店舗

創業50周年への取り組みスタート

2021年度は、感謝を伝える1年に

イオン九州

AEON 50 周年

マックスバリュ九州

MaxValu 20 周年

新生イオン九州

AEON 1 周年 **MaxValu**



2021年度 重点施策 デジタル改革

CX(お客さまの体験価値)とEX(従業員の体験価値)を満たすDX推進



step 1 入口で専用スマホを受け取る
step 2 買物しながら商品スキャン
step 3 専用精算機でお支払い



SM版
ネットスーパー

スマホで
注文

即日配送



AI除菌清掃
ロボット導入



オンラインショップ



電子棚札

作業軽減

POP印刷
枚数削減

持続可能な社会づくりを目指して

環境保全・社会貢献活動の推進



毎月11日のイオン・デーは、幸せの黄色いレシートの日。



あなたが応援したい団体を選んでレシートをご投函いただくと、お買上げレシート金額合計の1%と同額の品物をその団体に寄贈します。



本日のご説明内容

1. 2020年度 通期の業績
2. 2020年度 重点施策
3. 2021年度 重点施策
4. 2022年2月期 業績予想

2022年2月期業績予想

(単位:百万円)	通期業績予想	
	予想値	前期比
営業収益	480,000	137.9%
営業利益	3,400	108.3%
経常利益	3,400	100.8%
当期純利益	1,500	75.5%
1株当たり配当金	15円	(普通配当)

ご清聴いただきありがとうございました。

2021年2月期(第49期)

決算説明会



本日発表の予想は、現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える
不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。
実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の予想と異なる場合があります。